

'15. 2. 22

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

<http://tosaren.web.fc2.com/index.html>

tosaren@syuwa.tv

FAX03-3961-2445

参政権保障委員会報告(2015/2/16)

2月16日(月)東京都選挙管理委員会と東京都聴覚障害者の参政権委員会との懇談会が実施されました。

短い時間でしたが、とても有意義な話し合いになりました。

【報告と質問】

- 1) 12/14衆議院議員選挙時のコミュニケーションボードの設置状況について、都サ連での調査結果を報告
- 2) 12/13政見放送ビデオ上映会について、参加者のアンケート結果を報告
- 3) コミュニケーションボードのオープンソース化について
- 4) 投票所のバリアフリー化のために、マニュアルを作成して欲しい。
- 5) 政見放送の経歴放送にも手話通訳や字幕を付けて欲しい。

【都選管から】

- ・区市町村のベテランの職員ほど思い込みが強く、コミュニケーションボードの存在を知らない面がある。
耳マークについても周知する。
- ・区市町村の職員に障害者対応を徹底し、投票所の環境改善に向けて努力したい。
- ・手話通訳者が運動員であること、要約筆記者がボランティアの扱いであること、また、政見放送の手話通訳や字幕の問題については、公職選挙法の壁があるので総務省や都道府県選挙管理委員会連合会とも話したい。
- ・『大田区では衆議院選挙時に投票所のアルバイトとして、手話通訳者会に募集の案内が来た。』との報告について、今後は、区市町村と情報交換をしながら、手話サークルにも働きかける方向で相談をしたい。

(文責 高田)

福祉対策会議報告

(1月22日)『第35回聴覚障害者施策推進地域担当者会議』(記録担当:都サ連)

- ・12/12(金)手話言語法推進活動は、午前に報告会・午後にはパレードを行った。午後は全国から700名超が参集して盛大なものになり、今後の運動の弾みとなった。参加と協力に感謝。
- ・手話言語法意見書採択の取り組みは、関東では埼玉、千葉、群馬、山梨の4県で区市町村100%を達成。東京でも3月100%を目指そう!
- ・関東ろう活動研修会(1/17~18 於:群馬県磯部温泉)の報告。①群馬大学金澤貴之教授の講演「手話言語条例の必要性」 ②取り組み状況報告 ③全体討論「手話言語法条例と労働・教育・手話・福祉」など。

(2月2日)

- ・手話言語法制定を求める意見書は、47都道府県で100%達成。東京は90%の区市町村で採決。
島しょについては鋭意努力中。
- ・東京都障害者施策推進協議会「第4期東京都障害福祉計画の策定に向けて」、東京都福祉のまちづくり推進協議会の「提言」がほぼまとまる。
- ・東京都聴覚障害者連盟は、次年度の事業日程案を発表、3/15の評議委員会にて確定する。
- ・東京都中途失聴・難聴者協会は、8/30(日)に30周年記念の集いを開催予定。
- ・都サ連は、1/18(日)の一日研修会について報告。
また、8/1~2の被災地福島ツアー企画を予告し、東聴連に協力を依頼した。
- ・【災害対策委員会】3/14(土)気象庁見学会&講演会を企画。プレ見学会を実施し、内容や情報保障の方法について検討済。
- ・【参政権】2/16(月)東京都選挙管理委員会との懇談会。コミュニケーションボードのさらなる普及と投票所の手話通訳や字幕を進めたい。
- ・第36回地域担当者会議は、3月26日(木)~末日の間に開催予定。議題:意見書提出最終報告・手話言語条例の詳細・次年度計画案など
- ・次回福祉対策会議は3月2日(月)の予定、記録担当は都サ連です。

(文責:委員 林)

自立支援センター運営委員会報告

- 運営委員会 1月10日(土)・2月14日(土) 10～12時
○事務局より
- ・2階多目的室貸出について 条件(貸賃等)を見直した。構成団体(都サ連含む)は無料、光熱費のみ支払う
 - ・センター職員募集 4月より週2～3日 社会福祉士または精神保健福祉士。健聴の場合は手話通訳士。
 - ・法人の新聞、自立担当は2ページ、今後編集について協議していく。
 - ・自立のシンボルマーク、引き続き募集する。
 - ・2015年度予算について・・・承認
- 手話啓発事業
- ・2015年度上級手話講習会 チラシを耳の日に配布
 - ・特別講演会 年4回開催
第1弾は8月9日 詳細は後日発表
 - ・素晴らしい手話の世界 ゲストクラスは廃止
- センター啓発事業
- ・第44回耳の日記念文化祭
模擬店：おしろこ・甘酒
バザー：衣類・ごま飴等 2階洋室
機の貸出
 - ・センターまつりについて
準備を始める
- *次回運営委員会 3月14日(土) 10時から
(文責 高田・杉石)

たましろの郷後援会役員会

- 事務局から** 2014年度会員数/個人 1039名(1100口) 団体 51(97口)、募金箱回収 335個 ¥1,631,732(1/26現在)
2015年度の会費も受け付けが始まっています。ご協力よろしくお願いいたします。
- 耳の日記念文化祭** 2/28(土) 3/1(日)の2日間、東京都障害者福祉会館・港区立勤労福祉会館にて開催されます。チケットは地域ろう協さんよりお求めください。後援会ではナイトバースタッフを募集中です。詳しくは「たましろの郷ニュース」のチラシにて掲載。後援会事務局までどしどしお申し込みください!
- 2014年度報告集会** 5/30(土)立川「リスル」にて開催予定です。みなさまのご参加、よろしくお願いいたします。
- 後援会シンボルマーク募集中** たましろの郷後援会のシンボルマークを募集します!後援会のオリジナルグッズやチラシに活用します。ぜひ、たくさんのご応募お待ちしております!
- (文責 天野)

都サ連一日研修会 招待団体より学生3名の感想

1、日大PEACE 谷口由紀さん

今日はありがとうございました。
いつもテレビで見ている早瀬さんの手話を生でみれて、貴重な体験ができました。
午前中しか参加ができませんでしたので、早瀬さんのお話の感想だけで失礼します。
聴覚障害の方とどの様に付き合っていけばいいのか、今日の早瀬さんのお話で少しわかったような気がします。
早瀬さんのお話はとても面白くて、もっと聞きたかったですし、時間がすぎるのがあっという間でした。
今日は本当にありがとうございました。
今後もどうぞよろしくお願いいたします。

2、東京理科大SSL 星野颯太さん

いつもTVで拝見してた早瀬さんの講演を身近で傍聴することができてとても嬉しかったです。
真面目な話しになるのかな?と思ってましたが、初めから最後までユーモア溢れるお話で終始笑いっぱなしでした!
どの親も自分の子供を育てるときとても悩むんだなあ。自分の親もとても大変だったんだなあ。と感じました。
常に感謝の気持ちを忘れず、支えてくれた人たちに恩返しができるように自分も頑張りたいと思いました。
貴重な講演会にご招待して頂き、本当にありがとうございました!

3、帝京大com&com 熱田悠介さん

このたびは都サ連一日研修会に参加させていただき、本当に貴重な体験をすることができたと考えている。まずは、最初にお話をいただいた早瀬憲太郎氏について述べよう。早瀬氏は主に聴覚障害者にしか感じられないことを話してくださった。転んだり人に殴られたりするだけで補聴器は壊れしまうため、とてもお金がかかってしまうこと、またそのお金を節約するために行った裏技など、恥ずかしいと思うところまで教えていただいたとき、私たちが外見で聴覚障害者としての苦を予想している以前に、私たちの知らないところで苦しんでいることがあったのだなど、痛感させられた。
次に、石原茂樹氏のしてくださったお話は、歴史をたどりながら日本の手話の歩みについて話すものであった。そのような話を聞き、今障害者の支援に必要なのは、持てる力を十分に発揮できる場所であると知ることができた。
今回の研修会から、以上のような貴重な体験ができたので、またこのような研修会があれば参加したいと感じた。この場を借りて厚く御礼申し上げます。